

# 紙製品の使用を減らすことにより生態学的 (エコロジカルな) 持続性に取り組む

Wティッシュ、トイレットペーパー、ペーパータオル、紙ナプキン、プリンター用紙などの紙製品を購入する際、生態学的（エコロジー）持続性に関わる判断をするにはどういった知識が必要なのでしょうか？ 私たちが選択する際の判断や行動によっては、温室効果ガスの排出量を減らし、エネルギーと水の消費量を減少させ、立場の弱い人々を有毒化学物質から守ることができるのです。考慮すべき点は下記の通りです：

- **リサイクルされた資源の含まれている割合の最も高いものを探しましょう。** EPA（環境保護庁）のレコメンデーションによりますと、ペーパータオルだと40-60%、トイレットペーパーだと20%-60%リサイクルされた資源を使って製造されたものを買うことが奨励されています。リサイクル100%の紙というのはバージン繊維パルプは使用していませんが、リサイクルされた資源と消費者使用前の資源（産業廃棄物等）とをコンバインした紙製品の場合が多いそうです。
  - 再利用（リサイクル）された資源（Postconsumer Content）というのは、最初の目的を果たされた後に捨てられずに、再利用された資源のことを言います。リサイクルされた資源で製造されたティッシュ製品等は、木から採取されたバージン繊維を使うよりもはるかに環境に及ぼす影響は少なくなります。なぜなら、森林から木を伐採しそれをパルプに変える必要がなく、その上リサイクルされた紙を漂白するための漂白剤の方が、バージン繊維のパルプを漂白する漂白剤のよりも有毒性が極めて低いためです。（The Issue with Tissue）
  - 消費者使用前のリサイクルされた資源（Pre-consumer recycled content）は、産業・加工廃棄物ともいわれていますが、製造中に出た切りくずや、過剰にプリントされたものの残りや、廃止されたプリントものの在庫など、未使用の紙製品のことを言います。消費者使用前の資源は森林に対するプレッシャーは軽くなりますが、資源の節約や廃棄物の減少などの面でのメリットは少ないそうです。（The Issue with Tissue）

- **無漂白パルプで製造された製品を探しましょう。**漂白剤の種類によっては環境の持続性を影響します。紙製品を漂白したり白くしたりすることは環境にどのような影響を及ぼすのでしょうか？
  - リサイクルされた紙製品は、塩素フリー（Processed chlorine free-PFC）など、有毒性の極めて低い漂白の方法で処理されています。この漂白プロセスは全く塩素を使用せず、代わりに酸素、オゾン、そして過酸化水素を使用します。更に、多くのリサイクルされた繊維はすでに漂白済みのため、リサイクルされた紙製品は全体的に漂白する必要性がありません。バージン素材で作られた製品が塩素を使用せずに漂白された場合はtotally chlorine free (TCF)完全塩素フリーというラベルが貼られます。（The Issue with Tissue）
- **森林管理協議会（FSC）に認定された竹製品を探しましょう。**竹でできた紙製品は紙市場の中では成長しつつあります。竹繊維は優良な点が多くありますが、懸念すべき点もあります。
  - 消費者や紙製品製造会社は竹で作られた材料・製品を購入する際には十分に注意をする必要があります。竹の栽培は、他の代替りとなる植物繊維の栽培と同様、サプライチェーンのモニタリングシステムが行き届いていないという問題があります。そのため、森林が伐採された跡地を竹林農園にしているところもあります。ということで、紙製品製造会社は、竹が持続可能な竹林農園から調達され、Forest Stewardship Council (FSC) 森林管理協議会（FSC）に認定された竹であることを確認する必要があります。（The Issue with Tissue）

**T追加情報は下記のリンクをご覧ください。**

- ティッシュの問題：アメリカ人がいかにして森林をトイレに流しているか
- 環境に優しいトイレトペーパー：竹 対 リサイクル

## 自己評価

私たちは修道会としてラウダート・シを実践することを決意しました。それには個人的な、そして集団的な行動と選択が伴います。今現在あなたがすでに取り組んでいることを教えてください。また、今年新たにもう一つか二つ、より持続可能な生活ができるよう、取り組めることはありますか？